

街中を子どもの学びの場  
 ・子どものための学びの場  
 ・フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域  
 づくりに参画する学校  
 ～共生社会の中の学校

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
 ～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに  
 生きる教職員

時間削減の目標

	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン②  
 地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と  
 探求的な学び

茅野市働き方改革の目標  
 子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
 —教職員が教育活動に専念でき、自分の人生を豊かにするための教育環境—  
 —時間を生み出す工夫をしていく—

縄文のビーナスプラン①  
 共生社会をつくり、子どもたちの  
 多様性を包み込む学校

茅野市の働き方改革の具体

児童相談所・警察・  
 外部機関との連携

働き方改革の核  
 ～学校と教育委員会との役割分担と協働～ 子ども・家庭支援の充実と  
 子ども家庭への支援・相談は **育ちあいちの** 学校・職員の支援の充実と  
 5 19 精神的負担の軽減

市の社会福祉部門との連携

学校の取組 地域と共につくる学校

1 コミュニティ・スクールの充実 4 17  
 (地域コーディネータによる運営)  
 ・子どもの学びのための支援  
 ・学校施設整備への支援  
 ・見回り(交通安全・不審者) 1  
 2 ボランティアの方による学びの支援 15  
 3 広報資料・ウェブサイトの作成 7

北山小学校では、地域の方より読み聞かせ、クラブ活動へ支援をいただきます。

学校業務の効率化・軽減化

1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握  
 2 校務のICT化 教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化  
 3 業務支援員の配置 16  
 4 会議、提出物の精選化  
 5 年間計画、日課表の改善(研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定)

北山小学校では、日課を見直し、6時間授業のときは下校時刻を15時30分、5時間授業のときは14時40分にして授業準備の時間を確保し、指導の充実を図ります。

教育課程の改善

1 1時間単位の授業の弾力的運用  
 (中学校)  
 2 小学校教科担任制  
 3 教具・教材の共有化

北山小学校では、5.6年生で教科担任制を導入し、専門性を生かした質の高い授業に結びつけます。

働き方改革への市教委として教育活動への支援 ～リードから支援とアドバイスへ～

1 読書活動応援センター(読書指導への支援)  
 2 ICTサポートセンター(ICT教育のため  
 12名を配置) 8  
 3 発達支援センターと特別支援教育支援員の  
 配置(40名)  
 4 公民館等の公共機関による出前講座等による  
 支援

5 いじめ対応の学校支援員会 ・アドバイザーの配置 (弁護士、医師、心理  
 の専門家・学識経験者)  
 6 部活動の地域展開 (土日の部活はR8年度に完全展開 平日の部活動は  
 R13年度までに完全展開) 13  
 7 不登校支援 サポートルームの設立(6サポートルーム、7ミニサポートルー  
 ム)まなざし 県費1名、市費10名の教員配置  
 8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 14

教職員のメンタルヘルス

1 ストレスチェックの活用  
 2 市独自のストレスチェックテスト  
 3 教職員の相談窓口(育ちあいちの)  
 4 教委による外部相談・医療紹介